

エネルギーサーバー 管理アプリ

取扱説明書

はじめに

権利者の許諾を得ることなく、本ソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、および本ソフトウェアを賃貸に使用することは、著作権法上禁止されております。

© 2012 Sony Corporation

ソフトウェアを使用したことによるお客様の損害、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いません。

ハードウェアにトラブルが発生して記録内容の修復が不可能になった場合、当社は一切その責任を負いません。

本ソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。

本ソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

商標について

- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、本書に登場するシステム名、製品名、会社名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では、®、™マークは明記していません。

ライセンスに関するご注意

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアである「jQuery」、「jQuery UI」、「jqPlot」、「Activity Indicator」が搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社は当該ソフトウェアのライセンス内容をお客様に通知する義務があります。ライセンス内容に関しては、同梱CD-ROMに記載されていますので、以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

CD-ROMの「License」フォルダにある「license1.pdf」をご覧ください。

「jQuery」、「jQuery UI」、「jqPlot」、「Activity Indicator」の記載（英文）が収録されています。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のソフトウェアが含まれておりますが、これらのソフトウェアは同梱CD-ROMに記載されているGNU General Public Licence（以下「GPL」とします）またはGNU Lesser General Public Licence（以下「LGPL」とします）の適用を受けるものです。お客様には同梱CD-ROMに記載されているGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。ソースコードは同梱CD-ROMの「Source」フォルダにあります。なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容に関しては、同梱CD-ROMに記載されていますので、以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

CD-ROMの「License」フォルダにある「license2.pdf」をご覧ください。

「GPL」、「LGPL」の記載（英文）が収録されています。

目次

はじめに	2
商標について	2
ライセンスに関するご注意	2
機能概要	4
本体とパソコンを接続・設定する	5
動作環境	5
本体ネットワーク設定の初期値	5
1.イーサネットケーブルを接続する	6
2.エネルギーサーバー本体の設定をする	6
3.パソコンの設定をする	7
4.エネルギーサーバー本体のネットワーク設定を 変更する	7
操作画面の使いかた	8
🏠 ホーム画面	8
📊 グラフ画面	11
🔧 設定画面	14
その他	21

機能概要

パソコンなどのブラウザでエネルギーサーバー管理アプリの操作画面を表示し、エネルギーサーバー本体の状態確認、各種設定をすることができます。

エネルギーサーバー管理アプリを利用するには、エネルギーサーバー本体とパソコンなどをネットワークを介して接続し、簡単な設定をする必要があります。

ヒント

- エネルギーサーバー本体の使いかたについて詳しくは、エネルギーサーバーの取扱説明書をご覧ください。

本体情報の確認

エネルギーサーバー本体の運転状態や接続している電気機器の消費電力を確認できます。

本体の設定

運転モードの切り替えや、各種設定の変更ができます。

運転モードのカスタマイズ

運転モードの充放電スケジュールを細かく設定することで、運転モードをカスタマイズすることができます。

履歴情報の表示

過去の履歴をグラフで確認できます。

履歴情報の取得

過去の履歴をCSV形式でダウンロードすることができます。

ご注意

- エネルギーサーバー本体を初期化すると各設定は工場出荷状態に戻ります。本体を初期化したときは、本取扱説明書に従って再度設定をしてください。

本体とパソコンを接続・設定する

エネルギーサーバー本体とパソコンなどをネットワークを介して接続して、簡単な設定を行います。
ここでは、本体ネットワーク設定が初期値の場合のパソコンを使った設定手順を説明します。

動作環境

動作検証済みの環境は以下のとおりです。

通信機器	OS	ブラウザ
パソコン	Windows XP Professional	Internet Explorer 7
	Windows 7 Professional	Internet Explorer 7
		Internet Explorer 8
		Internet Explorer 9

本体ネットワーク設定の初期値

エネルギーサーバー本体のネットワーク設定は、あらかじめ以下のとおり設定されています。

- IP Address : 192.168.1.200
- Network Mask : 255.255.255.0
- Gateway : 192.168.1.254

ご使用になるネットワーク環境により、本体のネットワーク設定を変更する必要がある場合は、「4.エネルギーサーバー本体のネットワーク設定を変更する」(7ページ)をご覧ください、設定を変更してください。

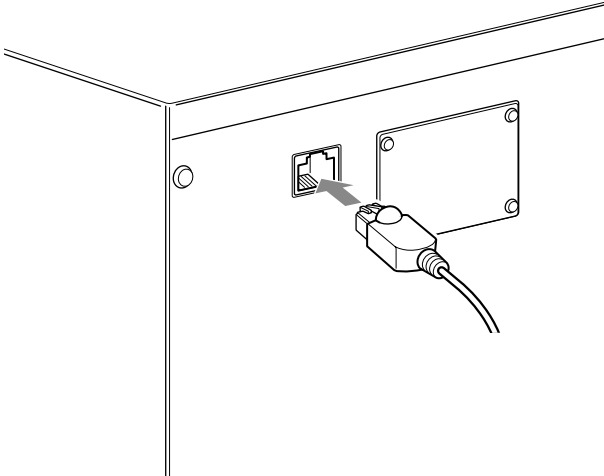
ご注意

- エネルギーサーバー本体を初期化すると本体ネットワーク設定も初期化されます。本体を初期化したときは、本取扱説明書に従って再度ネットワークの設定をしてください。

1.イーサネットケーブルを接続する

エネルギーサーバー本体にイーサネットケーブルを接続します。

- 1 イーサネットケーブルをエネルギーサーバー本体のイーサネット端子に接続する。



で注意

- 静電気を帯びた手でイーサネット端子に触れると、静電気の放電による故障の原因になります。イーサネット端子およびイーサネットケーブルの金具部には触れないようにご注意ください。

- 2 イーサネットケーブルのもう一方を、設定に使用するパソコンと同じネットワークに接続する。

で注意

- 「Auto MDI/MDI-X」機能がないパソコンとエネルギーサーバー本体を直接接続する場合は、クロスケーブルを使用する必要があります。

2.エネルギーサーバー本体の設定をする

エネルギーサーバー本体のネットワーク設定を「ON」にします。

ヒント

- エネルギーサーバー本体の使いかたについて詳しくは、エネルギーサーバーの取扱説明書をご覧ください。

- 1 本体表示パネルの操作スイッチの決定ボタンを押す。
表示パネルのLCDパネルに日付・時刻・現在の動作モードが表示されます。
- 2 決定ボタンを3秒以上押したままにする。
LCDパネルにパネルメニューが表示されます。
- 3 操作スイッチの上下ボタンで「ETHERNET」を選んで決定ボタンを押す。
「ETHERNET」の設定状態が表示されます。
- 4 決定ボタンを押す。
「ETHERNET」設定の変更が可能な状態になります。
- 5 上下ボタンで「ON」を選び、決定ボタンを押す。
- 6 IPアドレスを確認する。
「ETHERNET」の設定状態表示中に上下ボタンを押すと、本機に設定されているIPアドレスを確認できます。

ヒント

- 初期値は「192.168.1.200」です。画面の更新に10秒程度かかる場合があります。

- 7 戻るボタンを数回押してパネルメニューを終了する。

3. パソコンの設定をする

パソコンのネットワーク設定をします。

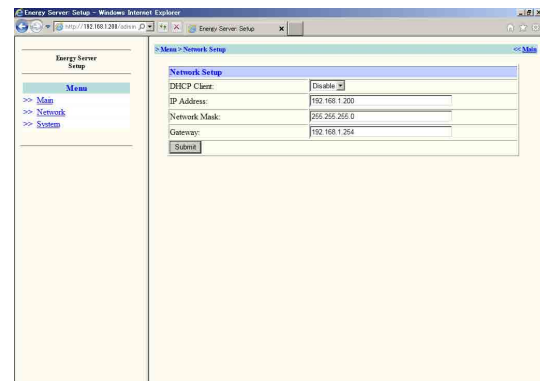
- 1 使用するパソコンのネットワーク設定を、以下のとおり設定する。
IP Address : 192.168.1.1
Network Mask : 255.255.255.0
Gateway : 192.168.1.254
- 2 パソコンのブラウザを立ち上げる。
- 3 ブラウザのアドレスバーに「http://192.168.1.200」と入力し、Enterキーを押す。
エネルギーサーバー管理アプリの操作画面（ホーム画面）が表示されます。



4. エネルギーサーバー本体のネットワーク設定を変更する

ご使用になるネットワーク環境により、本体のネットワーク設定を変更する必要がある場合は、以下の手順で設定を変更してください。

- 1 ブラウザのアドレスバーに「http://192.168.1.200/admin/」と入力し、Enterキーを押す。
ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。
- 2 ユーザー名に「admin」、パスワードにエネルギーサーバー本体で設定しているパスワードを入力し、[OK]をクリックする。
エネルギーサーバー管理アプリのネットワーク設定画面が表示されます。現在のシステム情報を確認することができます。



ヒント

- パスワードの初期値は「0000」です。

- 3 画面左側のMenuから [Network] をクリックする。
- 4 画面右側のNetwork Setupの各項目を変更し、[Submit] をクリックする。
- 5 本体のパネルメニューでIPアドレスを確認する。
「2.エネルギーサーバー本体の設定をする」(6ページ)をご覧ください、IPアドレスが正しく設定されていることを確認してください。
- 6 エネルギーサーバー本体のネットワーク設定を再設定する。
DHCP Clientを「Enable」に変更したときは「2.エネルギーサーバー本体の設定をする」(6ページ)をご覧ください、ネットワーク設定を一度OFFにして決定し、再度ONにして決定してください。

ご注意

- 画面左側のMenuから [System] をクリックするとエネルギーサーバー管理アプリのFirmware Updateを実行できますが、通常は使用しないでください。不正なデータを読み込むとエネルギーサーバーを使用できなくなる場合があります。

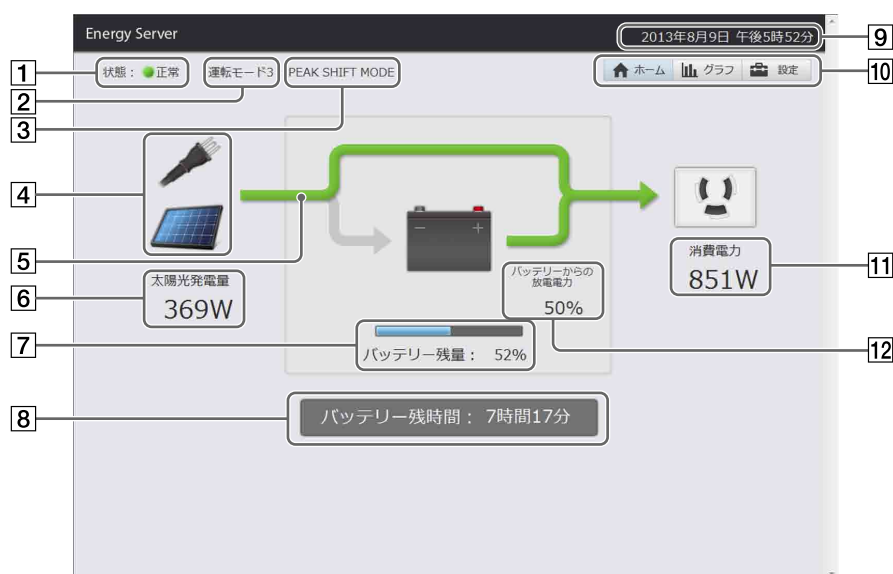
操作画面の使いかた

🏠 ホーム画面

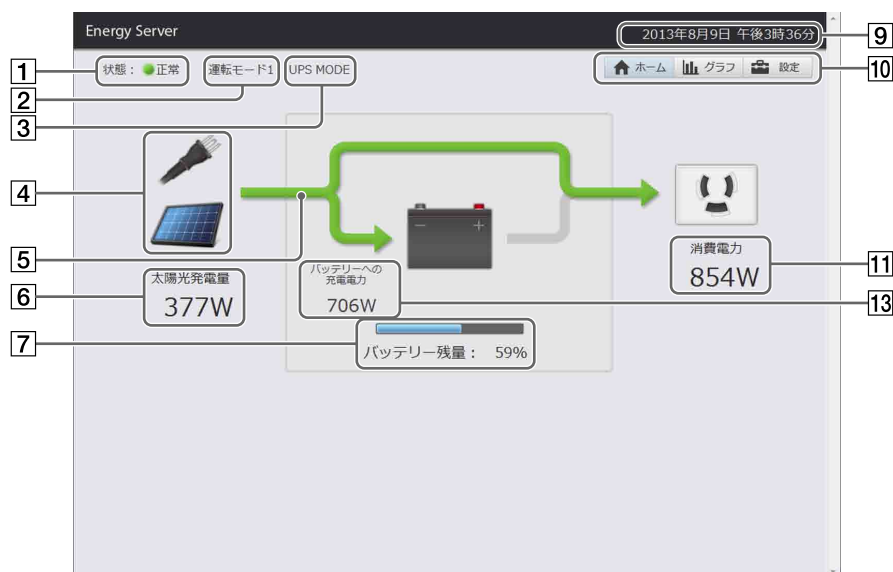
エネルギーサーバー本体との接続を完了したときに、最初に表示される画面です。操作画面上の[🏠 ホーム]ボタンをクリックすると表示されます。

現在の本体の状態を確認できます。

放電中の画面



充電中の画面



① 状態

本体の動作状態が表示されます。
ランプが緑色の場合は正常に動作しています。
ランプが赤色の場合は異常が発生しています。エネルギーサーバー本体を確認してください。

② 運転モード番号

現在運転中の運転モード番号 (1/2/3) が表示されます。

③ 運転モード名

現在運転中の運転モード名称が表示されます。

④ 入力アイコン

太陽光発電充電器の有無により、アイコンが異なります。
太陽光発電充電器なしの場合



太陽光発電充電器ありの場合



⑤ 現在の動作モード

現在の動作モードがイラスト(緑色の矢印)で表示されます。動作モードについて詳しくは、「動作モード」(10ページ)をご覧ください。
「運転モード」と「動作モード」の関係については、「運転モードと動作モードについて」(10ページ)をご覧ください。
UPSモード／バイパスモード



電池モード



ピークカットモード／併用モード



出力停止状態



ご注意

- イラスト(緑色の矢印)は現在の動作モードを表しています。実際の電気の流れではありません。

⑥ 太陽光発電電量

太陽光パネルの発電電力量が表示されます。
太陽光パネルの発電が可能なときに表示されます。太陽光発電充電器からの発電が禁止されているときは表示されません。

⑦ バッテリー残量

バッテリー残量の割合が%で表示されます。

⑧ バッテリー残時間

現在の状態のまま運転を継続した場合の放電可能時間が表示されます。
バッテリーから放電しているときのみ表示されます。

ヒント

- ピークカットモードと併用モードの場合は「放電停止バッテリー残量」になるまでの時間が、停電時の電池モードの場合はバッテリー残量がゼロになるまでの時間が表示されます。

⑨ 日付と時刻

本体に設定されている、現在の日付と時刻が表示されます。

⑩ 操作画面切り替えボタン

クリックすると操作画面が切り替わります。

ホーム ボタン：ホーム画面が表示されます。

グラフ ボタン：グラフ画面に切り替わります。詳しくは、「 グラフ画面」(11 ページ)をご覧ください。

設定 ボタン：設定画面に切り替わります。詳しくは、「 設定画面」(14 ページ)をご覧ください。

⑪ 消費電力

本体に接続している電気機器の消費電力量の合計が表示されます。

⑫ バッテリーからの放電電力割合

バッテリーからの放電電力量の割合が表示されます。
動作モードが電池モードのときは常に100%と表示されます。UPSモード、バイパスモードのときは表示されません。

⑬ バッテリーへの充電電力

バッテリーへの充電電力量が表示されます。
バッテリーへ充電しているときのみ表示されます。

ご注意

- ホーム画面に表示される数値は、すべて目安の値です。

運転モードと動作モードについて

本機には5種類の「動作モード」があります。それら5種類の動作モードを組み合わせでスケジュール設定し、1日の運転パターンとしてまとめたものが「運転モード」です。

動作モード

UPSモード

常時インバーター方式により電力を供給します。
停電が発生した場合でも無瞬停（電力の供給が途切れない）で「電池モード」に切り替わります。

電池モード

バッテリーからのみ電力を供給し、商用電力をまったく使用しません。
運転中の動作モードに関わらず、停電が発生した場合はこのモードに移行します。

ピークカットモード

商用電力とバッテリーを組み合わせで電力を供給し、ピークカットを実現します。
商用電力の上限消費量を設定し、消費電力が設定した上限消費量を超えると、バッテリーから電力を供給します。
設定した上限消費量以下の場合は、バッテリーを100%まで充電します。（充電停止バッテリー残量設定が100%以外のときには、その設定値まで充電します。）

ヒント

- 太陽光パネルが発電しているときは、充電停止バッテリー残量の設定値に関わらず、100%まで充電します。

ご注意

- 制御には誤差が含まれます。目安としてお考えください。

併用モード

商用電力とバッテリーを組み合わせで電力を供給します。
商用電力の使用割合を%で設定します。

ご注意

- 制御には誤差が含まれます。目安としてお考えください。

バイパスモード

常時インバーター回路は使用せず、バイパス回路でAC入力をそのままAC出力につないで電力を供給します。
停電が発生した場合、「電池モード」に切り替わるまでに瞬停（電力の供給が一瞬途切れる現象）が発生するため、パソコンなどの精密機器には向かない動作モードです。

山 グラフ画面

操作画面上の **山 グラフ** ボタンをクリックすると表示されます。
過去1年分の消費電力の履歴を、日毎、週毎、年毎にグラフで確認できます。

日毎の履歴を表示する

グラフ画面下部の **[日]** ボタンをクリックすると以下の画面が表示されます。



- 1 **運転モード名**
現在運転中の運転モード名称が表示されます。
- 2 **運転モード番号**
現在運転中の運転モード番号 (1/2/3) が表示されます。
- 3 **状態**
本体の動作状態が表示されます。
ランプが緑色の場合は正常に動作しています。
ランプが赤色の場合は異常が発生しています。エネルギーサーバー本体を確認してください。
- 4 **山 ボタン(日付変更ボタン)**
クリックするとカレンダーが表示されます。
カレンダー上の日付をクリックすると、履歴を表示する日付を変更できます。
- 5 **履歴の日付**
現在表示中の日付が表示されます。
- 6 **消費電力の履歴(グラフ)**
選んでいる日付の消費電力履歴がグラフで表示されます。
1時間毎の履歴が24時間分表示されます (0時～24時)。
- 7 **◀ ボタン / ▶ ボタン(日付切り替えボタン)**
◀ ボタンをクリックすると前日に、▶ ボタンをクリックすると翌日に、履歴を表示する日付を切り替えられます。
- 8 **日付と時刻**
本体に設定されている、現在の日付と時刻が表示されます。
- 9 **操作画面切り替えボタン**
クリックすると操作画面が切り替わります。
[ホーム] ボタン: ホーム画面に切り替わります。詳しくは、「ホーム画面」(8 ページ) をご覧ください。
[山 グラフ] ボタン: グラフ画面が表示されます。
[設定] ボタン: 設定画面に切り替わります。詳しくは、「設定画面」(14 ページ) をご覧ください。
- 10 **消費電力量**
- 11 **バッテリーからの取電電力量**

ヒント

- グラフ上にマウスポインターをのせると、その位置のグラフの数値がポップアップで表示されます。

10 グラフ表示項目と表示設定

以下の項目をグラフに表示するかどうかを設定します。グラフに表示する場合はチェックボックスにチェックを入れてください。表示しない場合はチェックを外してください。

項目	表示内容
消費電力量	本体に接続したすべての電気機器の1時間の消費電力量を棒グラフで表示します。
バッテリーからの放電電力量	バッテリーからの1時間の放電電力量を棒グラフで表示します。
バッテリーへの充電電力量	バッテリーへの1時間の充電電力量を棒グラフで表示します。
バッテリー残量	バッテリー残量の割合(%)を折れ線グラフで表示します。

11 表示切り替えボタン

クリックすると画面表示が日毎、週毎、年毎に切り替わります。

[日] ボタン：1時間毎の履歴が24時間分表示されます。詳しくは、「日毎の履歴を表示する」(11ページ)をご覧ください。

[週] ボタン：1日毎の履歴が7日分表示されます。詳しくは、「週毎の履歴を表示する」(12ページ)をご覧ください。

[年] ボタン：1か月毎の履歴が12か月分表示されます。詳しくは、「年毎の履歴を表示する」(13ページ)をご覧ください。

週毎の履歴を表示する

グラフ画面下部の[週] ボタンをクリックすると以下の画面が表示されます。



1 [📅] ボタン(日付変更ボタン)

クリックするとカレンダーが表示されます。カレンダー上の日付をクリックすると、履歴を表示する週を変更できます。選んだ日付が含まれる週の履歴が表示されます。

2 履歴の日付

現在表示中の週が表示されます。

3 消費電力の履歴(グラフ)

選んでいる週の消費電力履歴がグラフで表示されます。1日毎の履歴が7日分表示されます(日曜日～土曜日)。

4 [◀] ボタン / [▶] ボタン(日付切り替えボタン)

[◀] ボタンをクリックすると前週に、[▶] ボタンをクリックすると翌週に、履歴を表示する週を切り替えられます。

5 グラフ表示項目と表示設定

以下の項目をグラフに表示するかどうかを設定します。グラフに表示する場合はチェックボックスにチェックを入れてください。表示しない場合はチェックを外してください。

項目	表示内容
消費電力量	本体に接続したすべての電気機器の1日の消費電力量を棒グラフで表示します。
バッテリーからの放電電力量	バッテリーからの1日の放電電力量を棒グラフで表示します。

ヒント

- 各グラフ画面に共通のボタンや表示については、日毎の履歴を表示する画面で説明しています。詳しくは、「日毎の履歴を表示する」(11ページ)をご覧ください。

年毎の履歴を表示する

グラフ画面下部の[年]ボタンをクリックすると以下の画面が表示されます。



① [📅] ボタン(日付変更ボタン)

クリックするとカレンダーが表示されます。カレンダー上の日付をクリックすると、履歴を表示する年を変更できます。選んだ日付が含まれる年の履歴が表示されます。

② 履歴の日付

現在表示中の年が表示されます。

③ 消費電力の履歴(グラフ)

選んでいる年の消費電力履歴がグラフで表示されます。1か月毎の履歴が12か月分表示されます(1月～12月)。

④ [◀] ボタン / [▶] ボタン(日付切り替えボタン)

[◀] ボタンをクリックすると前年に、[▶] ボタンをクリックすると翌年に、履歴を表示する年を切り替えられます。

⑤ グラフ表示項目と表示設定


以下の項目をグラフに表示するかどうかを設定します。グラフに表示する場合はチェックボックスにチェックを入れてください。表示しない場合はチェックを外してください。

項目	表示内容
消費電力量	本体に接続したすべての電気機器の1か月の消費電力量を棒グラフで表示します。
バッテリーからの放電電力量	バッテリーからの1か月の放電電力量を棒グラフで表示します。

ヒント

- 各グラフ画面に共通のボタンや表示については、日毎の履歴を表示する画面で説明しています。詳しくは、「日毎の履歴を表示する」(11ページ)をご覧ください。


設定画面

操作画面上の  設定 ボタンをクリックすると表示されます。

本体の設定を変更したり、充放電スケジュールを細かく設定して運転モードのカスタマイズをしたりすることができます。

設定画面を開く

はじめて設定画面を開くときは、ユーザー名とパスワードの入力が必要です。

- 1 操作画面上の  設定 ボタンをクリックする。
ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。
- 2 ユーザー名に「admin」、パスワードにエネルギーサーバー本体で設定しているパスワードを入力し、[OK]をクリックする。
設定画面が表示されます。

ヒント

- パスワードの初期値は「0000」です。

ご注意

- 共用パソコンで使用する場合、パスワードが保存されることがあります。その場合は、ブラウザのキャッシュを削除してからブラウザを終了するなどしてください。

運転モードを切り替える

- 1 設定画面左側の [運転モード設定] をクリックする。
運転モード設定画面が表示されます。
- 2 運転モード切り替えラジオボタンから、設定する運転モードをクリックして選ぶ。
- 3 画面下部の [モード切替] ボタンをクリックする。
運転モードが切り替わります。

運転モード設定画面



- 1 **運転モード名**
現在運転中の運転モード名称が表示されます。
- 2 **運転モード番号**
現在運転中の運転モード番号 (1/2/3) が表示されます。
- 3 **状態**
本体の動作状態が表示されます。
ランプが緑色の場合は正常に動作しています。
ランプが赤色の場合は異常が発生しています。エネルギーサーバー本体を確認してください。
- 4 **設定画面切り替えボタン**
クリックすると設定画面が切り替わります。
[運転モード設定] ボタン：運転モードを切り替えたり、カスタマイズしたりする画面に切り替わります。詳しくは、「運転モードを切り替える」(15ページ)をご覧ください。
[本体設定] ボタン：本体の各種設定を変更する画面に切り替わります。詳しくは、「ブザーや自動AC出力の設定、アプリ名を変更する」(18ページ)をご覧ください。
[日付時刻設定] ボタン：日付や時刻を変更する画面に切り替わります。詳しくは、「日付や時刻を変更する」(19ページ)をご覧ください。
[履歴情報表示] ボタン：履歴情報をダウンロードする画面に切り替わります。詳しくは、「履歴情報をダウンロードする」(20ページ)をご覧ください。
- 5 **日付と時刻**
本体に設定されている、現在の日付と時刻が表示されます。
- 6 **操作画面切り替えボタン**
クリックすると操作画面が切り替わります。
[🏠 ホーム] ボタン：ホーム画面に切り替わります。詳しくは、「🏠 ホーム画面」(8 ページ)をご覧ください。
[📊 グラフ] ボタン：グラフ画面に切り替わります。詳しくは、「📊 グラフ画面」(11 ページ)をご覧ください。
[⚙️ 設定] ボタン：設定画面が表示されます。
- 7 **運転モード切り替えラジオボタン**
ラジオボタンで運転モードを切り替えることができます。
- 8 **現在の運転スケジュール(イラスト)**
現在の運転スケジュールが、動作モードごとに色分けされて表示されます。動作モードについて詳しくは、「動作モード」(10ページ)をご覧ください。
ヒント
• スケジュール上の動作モードをクリックすると、その動作モードの詳細設定がポップアップで表示されます。
- 9 **[詳細設定] ボタン**
運転モード切り替えラジオボタンで運転モードを選び、[詳細設定] ボタンをクリックすると、選んだ運転モードをカスタマイズすることができます。
運転モードのカスタマイズについて詳しくは、「運転モードをカスタマイズする」(16ページ)をご覧ください。

10 [モード切替]ボタン

ラジオボタンで運転モードを選び、[モード切替]ボタンをクリックすると、選んだ運転モードへの切り替えが完了し、エネルギーサーバー本体の運転モードが変更されます。

運転モードをカスタマイズする

- 1 運転モード設定画面上の運転モード切り替えラジオボタンで、カスタマイズする運転モードをクリックして選ぶ。
- 2 運転モード設定画面下部の[詳細設定]ボタンをクリックする。
運転モードのカスタマイズ(運転スケジュールの編集)をする画面が表示されます。

ヒント

- この画面で、運転モード名をテキスト入力して編集できます。

- 3 スケジュールを編集する動作モードの[編集]をクリックする。
運転モード詳細設定画面が表示されます。

運転モード詳細設定

開始時刻：

午前

7時

終了時刻：

午後

11時

動作モード：

併用モード

AC入力電源の利用割合：

50%

充電停止バッテリー残量：

100%

放電停止バッテリー残量：

30%

放電停止後の動作モード：

UPSモード

決定

キャンセル

動作モードについて詳しくは、「動作モード」(10ページ)をご覧ください。
動作モードに応じて以下のパラメータを設定します。

AC入力電源の利用割合：

動作モードで「併用モード」を選択した場合に表示されます。
商用電力の使用割合を%で設定します。

AC入力電源の利用上限：

動作モードで「ピークカットモード」を選択した場合に表示されます。
商用電力の上限消費値を設定します。消費電力が設定した上限消費量を超えると、バッテリーから電力を供給します。

充電停止バッテリー残量：

充電を停止したいバッテリー残量を指定します。バッテリー残量が「充電停止バッテリー残量」以上になった場合、エネルギーサーバー本体は充電を停止します。バッテリー残量が「充電停止バッテリー残量」の-5%になった場合、充電を再開します。
通常、電池モード、併用モードでは、バッテリーを充電しませんが、エネルギーサーバー本体でAC出力を停止した場合のみ「充電停止バッテリー残量」まで充電します。
20%～100%の間で設定できます。

ヒント

- 太陽光パネルが発電しているときは、充電停止バッテリー残量の設定値に関わらず、100%まで充電します。

放電停止バッテリー残量：

放電を停止したいバッテリー残量を指定します。バッテリー残量が「放電停止バッテリー残量」以下になった場合、エネルギーサーバー本体は放電を停止します。

20%～100%の間で設定できます。放電停止バッテリー残量は、充電停止バッテリー残量よりも小さい値に設定してください。

放電停止後の動作モード：

放電停止バッテリー残量に達すると、エネルギーサーバー本体は動作モードを「放電停止後の動作モード」で設定した動作モードに変更します。充電されてバッテリー残量が「放電停止バッテリー残量」の+5%になった場合、元の動作モードに戻ります。

4 運転モード詳細設定画面のすべての項目を設定する。

動作モードの運転時間を延長した場合、重なった部分の動作モードは、延長した動作モードで上書きされます。

動作モードの運転時間を短縮した場合、動作モードが未設定の時間帯が発生します。未設定部分が残らないように、すべての時間帯に動作モードを設定してください。

動作モードについて詳しくは、「動作モード」(10ページ)をご覧ください。

5 運転モード詳細設定画面下部の[決定]ボタンをクリックする。

6 手順3～5を繰り返して、運転モードをカスタマイズする。

7 すべての編集が完了したら、画面下部の[保存]ボタンをクリックする。

運転モード設定画面に戻ります。これで運転モードのカスタマイズは完了です。

ヒント

- エネルギーサーバー管理アプリで運転スケジュールを編集した場合、本体の表示パネルで確認すると1時間ごとに表示されます。
- 1日に1回は満充電になるようにスケジュールを設定することをお勧めします。

運転モードをカスタマイズする画面



① 運転モード番号

カスタマイズする運転モード番号が表示されます。

② 運転モード名

カスタマイズする運転モード名が表示されます。運転モード名はテキスト入力による編集が可能です。
入力可能な文字は、半角英数字、()半角カッコ、%半角パーセント、半角スペースです。入力可能な文字数は20文字です。

で注意

- 半角スペースも1文字となります。初期設定の運転モード名は、半角スペースを含み20文字が入力されています。

③ 現在の運転スケジュール(イラスト)

現在の運転スケジュールが、動作モードごとに色分けされて表示されます。動作モードについて詳しくは、「動作モード」(10ページ)をご覧ください。
スケジュール上の各動作モードに表示されている[編集]をクリックすると、該当する動作モードのスケジュールを編集することができます。

④ [保存]ボタン

クリックすると編集したスケジュールを保存して、運転モード設定画面に戻ります。

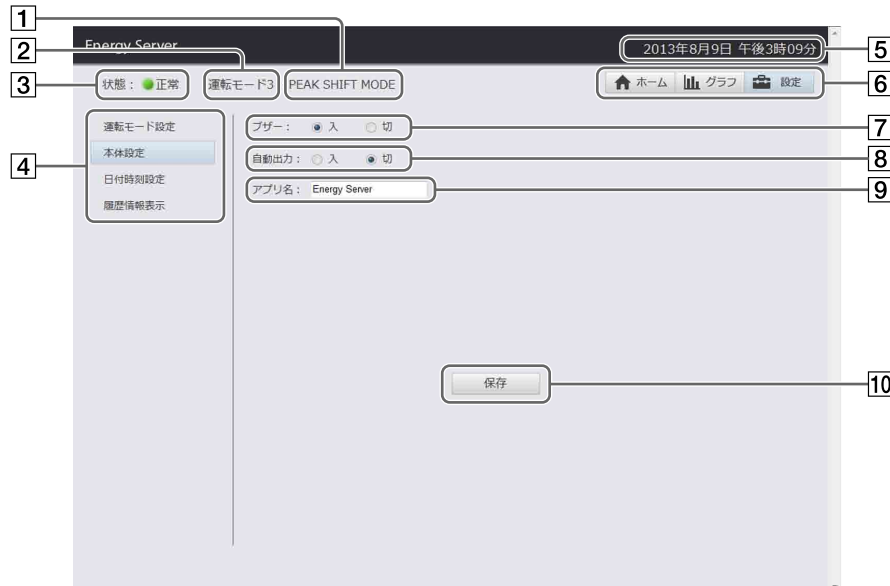
⑤ [キャンセル]ボタン

クリックすると編集したスケジュールを保存せずに、運転モード設定画面に戻ります。

ブザーや自動AC出力の設定、アプリ名を変更する

- 1 設定画面左側の [本体設定] をクリックする。
本体設定画面が表示されます。
- 2 各ラジオボタンをクリックして設定を変更する。
- 3 画面下部の [保存] ボタンをクリックする。
本体の設定が変更されます。

本体設定画面



- 1 **運転モード名**
現在運転中の運転モード名称が表示されます。
- 2 **運転モード番号**
現在運転中の運転モード番号 (1/2/3) が表示されます。
- 3 **状態**
本体の動作状態が表示されます。
ランプが緑色の場合は正常に動作しています。
ランプが赤色の場合は異常が発生しています。エネルギーサーバー本体を確認してください。
- 4 **設定画面切り替えボタン**
クリックすると設定画面が切り替わります。
[運転モード設定] ボタン：運転モードを切り替えたり、カスタマイズしたりする画面に切り替わります。詳しくは、「運転モードを切り替える」(15ページ)をご覧ください。
[本体設定] ボタン：本体の各種設定を変更する画面に切り替わります。詳しくは、「ブザーや自動AC出力の設定、アプリ名を変更する」(18ページ)をご覧ください。
[日付時刻設定] ボタン：日付や時刻を変更する画面に切り替わります。詳しくは、「日付や時刻を変更する」(19ページ)をご覧ください。
[履歴情報表示] ボタン：履歴情報をダウンロードする画面に切り替わります。詳しくは、「履歴情報をダウンロードする」(20ページ)をご覧ください。
- 5 **日付と時刻**
本体に設定されている、現在の日付と時刻が表示されます。
- 6 **操作画面切り替えボタン**
クリックすると操作画面が切り替わります。
[ホーム] ボタン：ホーム画面に切り替わります。詳しくは、「ホーム画面」(8 ページ)をご覧ください。
[グラフ] ボタン：グラフ画面に切り替わります。詳しくは、「グラフ画面」(11 ページ)をご覧ください。
[設定] ボタン：設定画面が表示されます。
- 7 **ブザー設定変更ラジオボタン**
本体に異常が発生したときにブザーを鳴らすかどうかを設定します。初期値は「ON」に設定されています。
- 8 **自動AC出力設定変更ラジオボタン**
停電によりシステムがシャットダウンしている状態で、停電から復帰したときに、自動的にAC出力から電力を供給するかどうかを設定します。初期値は「OFF」に設定されています。
- 9 **アプリ名**
ブラウザのタブに表示されるアプリ名を変更することができます。
入力可能な文字は、半角英数字、() 半角カッコ、% 半角パーセント、半角スペースです。入力可能な文字数は20文字です。
- 10 **[保存] ボタン**
クリックすると、本体設定画面で設定した内容を本体に書き込みます。

日付や時刻を変更する

1 設定画面左側の「日付時刻設定」をクリックする。

日付時刻設定画面が表示されます。

2 [📅] ボタンをクリックしてカレンダーを表示し、設定する日付をクリックする。

3 リストボックスで時刻を設定する。

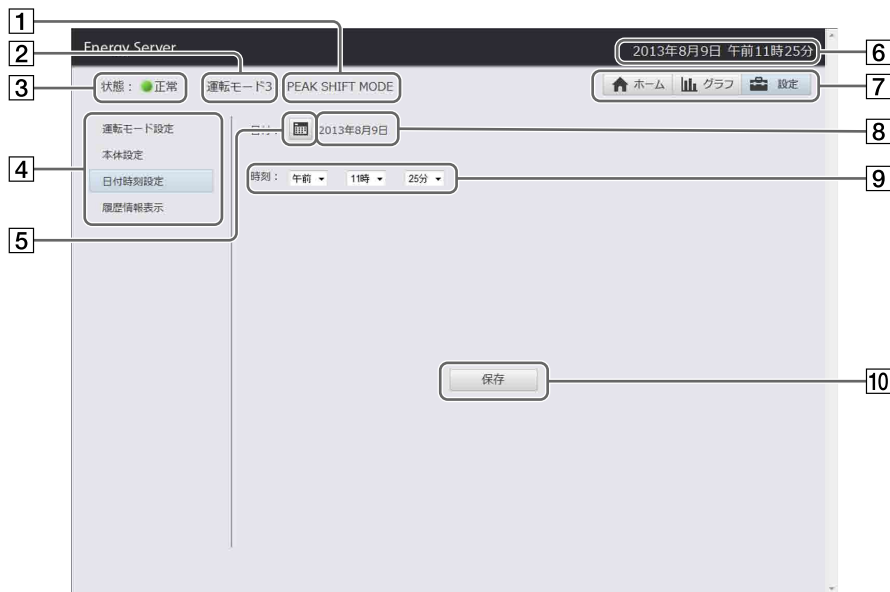
4 画面下部の「保存」ボタンをクリックする。

本体の日付と時刻が設定されます。

ご注意

- 本体の日付と時刻は正しく設定してください。正しく設定されていないと、エネルギーサーバー管理アプリの操作画面が正常に表示されない場合があります。

日付時刻設定画面



1 運転モード名

現在運転中の運転モード名称が表示されます。

2 運転モード番号

現在運転中の運転モード番号 (1/2/3) が表示されます。

3 状態

本体の動作状態が表示されます。

ランプが緑色の場合は正常に動作しています。

ランプが赤色の場合は異常が発生しています。エネルギーサーバー本体を確認してください。

4 設定画面切り替えボタン

クリックすると設定画面が切り替わります。

「運転モード設定」ボタン：運転モードを切り替えたり、カスタマイズしたりする画面に切り替わります。詳しくは、「運転モードを切り替える」(15ページ)をご覧ください。

「本体設定」ボタン：本体の各種設定を変更する画面に切り替わります。詳しくは、「ブザーや自動AC出力の設定、アプリ名を変更する」(18ページ)をご覧ください。

「日付時刻設定」ボタン：日付や時刻を変更する画面に切り替わります。詳しくは、「日付や時刻を変更する」(19ページ)をご覧ください。

「履歴情報表示」ボタン：履歴情報をダウンロードする画面に切り替わります。詳しくは、「履歴情報をダウンロードする」(20ページ)をご覧ください。

5 [📅] ボタン(日付変更ボタン)

クリックするとカレンダーが表示されます。

カレンダー上の日付をクリックすると、日付を変更できます。

6 日付と時刻

本体に設定されている、現在の日付と時刻が表示されます。

7 操作画面切り替えボタン

クリックすると操作画面が切り替わります。

「🏠 ホーム」ボタン：ホーム画面に切り替わります。詳しくは、「🏠 ホーム画面」(8 ページ)をご覧ください。

「📊 グラフ」ボタン：グラフ画面に切り替わります。詳しくは、「📊 グラフ画面」(11 ページ)をご覧ください。

「⚙️ 設定」ボタン：設定画面が表示されます。

8 日付

現在設定されている日付が表示されます。

9 時刻

リストボックスで時刻を設定できます。

10 「保存」ボタン

クリックすると、日付時刻設定画面で設定した内容を本体に書き込みます。

履歴情報をダウンロードする

1 設定画面左側の[履歴情報表示]をクリックする。

履歴情報表示画面が表示されます。

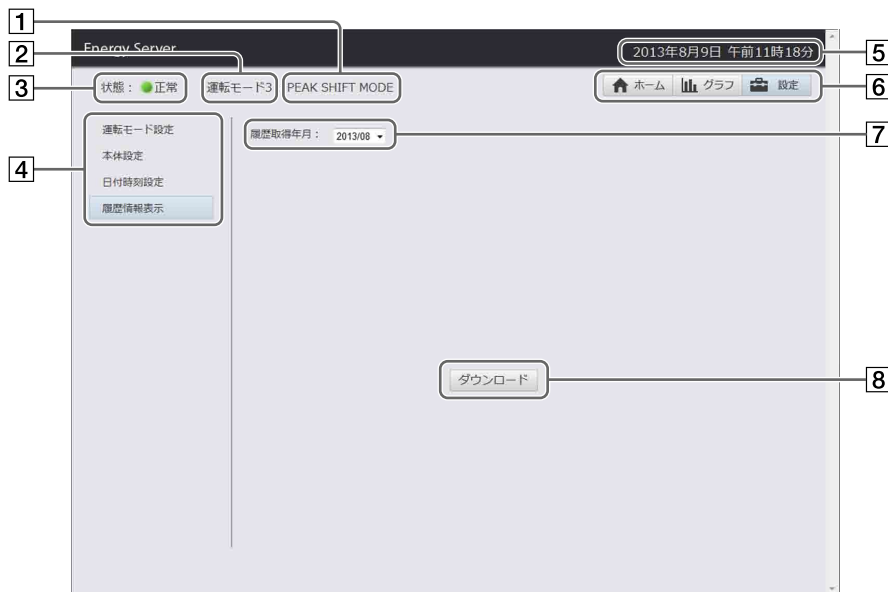
2 リストボックスで履歴取得年月を選択する。

消費電力量 [System Output Energy] ・ バッテリーへの充電電力量 [Battery Charge Energy] ・ バッテリーからの放電電力量 [Battery Discharge Energy] ・ 太陽光発電量 [PV Generated Energy] ・ 平均バッテリー残量 [SOC] を1日単位で過去最大2年分取得できます。

3 画面下部の[ダウンロード]ボタンをクリックする。

CSV形式で履歴情報がダウンロードされます。

履歴情報表示画面



1 運転モード名

現在運転中の運転モード名称が表示されます。

2 運転モード番号

現在運転中の運転モード番号 (1/2/3) が表示されます。

3 状態

本体の動作状態が表示されます。
ランプが緑色の場合は正常に動作しています。
ランプが赤色の場合は異常が発生しています。エネルギーサーバー本体を確認してください。

4 設定画面切り替えボタン

クリックすると設定画面が切り替わります。
[運転モード設定] ボタン：運転モードを切り替えたり、カスタマイズしたりする画面に切り替わります。詳しくは、「運転モードを切り替える」(15ページ)をご覧ください。
[本体設定] ボタン：本体の各種設定を変更する画面に切り替わります。詳しくは、「ブザーや自動AC出力の設定、アプリ名を変更する」(18ページ)をご覧ください。
[日付時刻設定] ボタン：日付や時刻を変更する画面に切り替わります。詳しくは、「日付や時刻を変更する」(19ページ)をご覧ください。
[履歴情報表示] ボタン：履歴情報をダウンロードする画面に切り替わります。詳しくは、「履歴情報をダウンロードする」(20ページ)をご覧ください。

5 日付と時刻

本体に設定されている、現在の日付と時刻が表示されます。

6 操作画面切り替えボタン

クリックすると操作画面が切り替わります。
[ホーム] ボタン：ホーム画面に切り替わります。詳しくは、「ホーム画面」(8 ページ)をご覧ください。
[グラフ] ボタン：グラフ画面に切り替わります。詳しくは、「グラフ画面」(11 ページ)をご覧ください。
[設定] ボタン：設定画面が表示されます。

7 履歴取得年月


リストボックスで履歴取得年月を選択できます。

8 [ダウンロード] ボタン

クリックすると履歴情報をダウンロードします。

その他

困ったときは

症状	対処	参照先
ブラウザでエネルギーサーバー管理アプリの操作画面が表示できない。	エネルギーサーバー本体の設定で「ETHERNET」の設定がONになっているか、また、ネットワーク設定が正しいかを確認してください。	「2.エネルギーサーバー本体の設定をする」(6ページ)および「4.エネルギーサーバー本体のネットワーク設定を変更する」(7ページ)をご覧ください。
	パソコンのネットワークの設定を確認してください。	「3.パソコンの設定をする」(7ページ)をご覧ください。
	エネルギーサーバー本体のパネルメニューで「ETHERNET」の設定を一度OFFにして決定し、再度ONにして決定してください。	「2.エネルギーサーバー本体の設定をする」(6ページ)をご覧ください。
ネットワーク設定を間違えてしまい、エネルギーサーバーに接続できなくなりました。	本体の設定を初期化して、再度正しくネットワーク設定をしてください。	本体に同梱されている、エネルギーサーバーの取扱説明書をご覧ください。
 グラフ画面に正しく履歴が表示されない。	エネルギーサーバー本体と操作しているパソコンの日付と時刻が正しく設定されているかどうかご確認ください。 日付と時刻は正しく設定してください。	「日付や時刻を変更する」(19ページ)をご覧ください。
ログイン画面が表示される。	設定画面を開くときは、ログインが必要です。	「設定画面を開く」(14ページ)をご覧ください。
パスワードを忘れてしまった。	本体の設定を初期化して、再度パスワードを設定してください。	本体に同梱されている、エネルギーサーバーの取扱説明書をご覧ください。
エネルギーサーバー本体で設定しているパスワードを入力してもログインできない。	エネルギーサーバー本体のパネルメニューで「ETHERNET」の設定を一度OFFにして決定し、再度ONにして決定してください。	「2.エネルギーサーバー本体の設定をする」(6ページ)をご覧ください。
履歴取得年月が正しく選択できない。	エネルギーサーバー本体と操作しているパソコンの日付と時刻が正しく設定されているかどうかご確認ください。 日付と時刻は正しく設定してください。	「日付や時刻を変更する」(19ページ)をご覧ください。

お問い合わせ・ご相談窓口

本書裏表紙の記載をご覧ください。

よくあるお問い合わせ、窓口業務などはホームページをご利用ください。

<http://www.sony.jp/professional/support/>

業務用商品相談窓口

フリーダイヤル **0120-788-333**

携帯電話・PHS・一部のIP電話など

フリーダイヤルがご利用になれない場合 ... **0466-31-2588**
050-3754-9550(2013年11月～)

FAX **0120-884-707**

受付時間 9:00～18:00(土・日・祝日、および休業日は除く)

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>